

2023 年度専門学校長野ビジネス外語カレッジ 学校関係者評価報告書

評価対象期間 自：2022 年 4 月 1 日
至：2023 年 3 月 31 日

専門学校長野ビジネス外語カレッジ
学校関係者評価委員会

学校関係者評価の概要と実施状況

専門学校長野ビジネス外語カレッジ学校関係者評価委員会は「2022年度自己点検・自己評価結果」を基に学校関係者評価を行った。その結果を以下のとおり報告する。

1. 学校関係者評価の目的と基本方針

1) 目的

専門学校 長野ビジネス外語カレッジにおける学校関係者評価の目的を以下のように定める。

- ①自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②本校と密接に関係する団体、企業の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。

2) 基本方針

専門学校長野ビジネス外語カレッジにおける学校関係者評価は、『専修学校における学校評価ガイドライン』に則って行うことを基本方針とする。

3) 委員会運営

2023年度における学校関係者評価委員会は、以下のように年1回開催する。

前半部、学内委員による2022年度（前年度）教育活動報告・運用実績に対する学校自己点検自己評価の結果総括、2023年度事業計画のご説明

後半部、外部委員による評価報告、審議

2. 学校関係者評価委員名簿

学校関係者評価委員として以下、企業、関係業界に委嘱した。

氏名	所属	
岡田基幸	AREC 浅間リサーチエクステンションセンター	企業・業界団体関係者 評価委員長
石坂大輔	渋温泉小石屋・株式会社ヤドロク	企業・業界団体関係者
林辰幸	林行政書士事務所	企業・業界団体関係者
山崎博昭	上田商工会議所	企業・業界団体関係者

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

2023 年度学校関係者評価委員会		
日時：2022 年 7 月 7 日（金）14：00～15：30		
場所：専門学校長野ビジネス外語カレッジ 4 階大教室		
会議次第		
時間	項目	担当者
14：00	開会挨拶	荻野理事長
14：10	委員紹介	浅野校長
14：15	2023 年事業計画	浅野校長
14：30	2022 年度教育活動成果報告 2022 年度キャリアセンター活動報告	堀内委員 高木委員
14：45	2022 年度学校自己点検自己評価総括	佐藤委員
15：00	審議・意見交換会、委員長総括	各委員、林外部委員（委員長代理）
15：30	閉会	

4. 基準項目ごとの学校関係者評価

1 教育理念・目的・育成人材像等

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	5	4	3	2	1
林	5	4	3	2	1
石坂	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
<p>・グローバル人材を育成する高等教育機関として明確に定めがある。グローバルな環境は強みであり、また即戦力人材は企業も求めているところである</p> <p>・学校自己評価を尊重する</p> <p>・一昨年度までの報告では留学生をベースとした視点での学校評価であったが、昨年度評価においては留学生に限定しない日本人学生も含めた全学生を対象にしているよう見受けられた。コロナ禍においてターゲティングにも大きな影響があったことが推察される。</p> <p>留学生を重視しないというわけではないと考えるので、引き続き日本での就労を目指す外国人留学生の育成機関としての機能を今後も期待する。</p>					

2 学校運営

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	5	4	3	2	1
林	5	4	3	2	1
石坂	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画を基に明確に諸規定が定められている。それにより個人目標が定められる仕組みが構築されている。 ・DX人材の育成は重要な課題である。 ・学生ポータルサイト等を積極的に使用し業務効率化に取り組んでいる様子が伺える。 					

3 教育活動

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	5	4	3	2	1
林	5	4	3	2	1
石坂	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムについては常にニーズを把握し、見直しを行うなど常に最適化するような努力をしている。 ・教育目標達成のため、優秀な人材を発掘する努力をしている。 ・教員の専門知識向上のため、学習や資格取得をサポートする体制が整っている。 ・今後の展開として、学生の就職に有利になるような資格の取得のサポートと受験義務化までできたら良いのではないかと。 ・随所に「DX人材」が登場するが、学校内部運営でのDXなのか、教育テーマとしてのDXなのか？⇒質疑応答時に回答。内部運営／教育目標いずれにも必要なテーマである。 					

4 教育成果

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	5	4	3	2	1
林	5	4	3	2	1

石坂	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・実践的な専門教育を行い、卒業生が希望する就職先を得るために、情報提供、就職支援を実施している。 ・学生とのコミュニケーションをしっかりととり、退学率の低減を図っている。就職進学率100%は評価に値する。 ・資格取得完全必須化を支持という部分を特に評価する。 ・卒業生の活躍状況を学校案内等で見られるのでわかりやすい。 ・今後の展開としてより学外のイベント(ビジネスコンテスト等)に出てもいいのではないかな。 					

5 学生支援

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	5	4	3	2	1
林	5	4	3	2	1
石坂	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアコンサルタントの2名体制で、就職率100%を達成したことは評価に値する。 ・奨学金制度や学生生活のサポートの他、保護者との意思疎通は重要であり、実践していることは重要である。 ・外国人学生が今後上田地域で起業することで、地域経済の活性化にもつながると思うためフォローを。 ・(上記の意見も踏まえ)同窓会設置の目的・テーマを留学生の永住権フォローにしてはどうか。 ・同じ学び舎にいた学生同士なので、同窓会活動を活発にしたらよいのではないかな。お互い日本で頑張っている良い刺激になるのではないかな。 					

6 教育環境

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	5	4	3	2	1
林	5	4	3	2	1
石坂	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・近年はインターンシップで企業を知ることが就活に重要となっている。提携企業数も安定してきた点は良い傾向である。 ・施設、設備のメンテナンスを定期的に行い、安全確保を徹底している防災訓練も定期的に行われ、防災意識を高めている。 ・大学のインターンシップでも企業側が採用活動してのインターンシップが可能になったので、もっと積極的に学生にインターンシップに行かせるべきではないか。 ・(上記に付随して) インターンシップでの事故は労災が使えるか⇒学生保険が適用可。 					

7 学生の募集と受け入れ

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	5	4	3	2	1
林	5	4	3	2	1
石坂	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・募集活動は協会の取り決めに従って実施している。国内の学生の募集は少子化の影響で確保が難しい状況である中、ウェブ面談や SNS 広報も積極的に活用し、若者の興味を引き付ける広報を展開し努力している。 ・コロナ期間で業界全体が大変厳しい状況であったが、乗り越えたことを評価する。昨年度から日本人学生も増えてきており、より募集面、ブランディング面でアピールができるようになるのでは。 ・インターナショナルな環境で学べる点を活かし日本人の受け入れにもっと積極的になっても良いのではないか。 					

8 財務

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	5	4	3	2	1
林	5	4	3	2	1
石坂	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
<p>・現在入学者は安定しているとのことで、財務状況はおおむね良好といえる。長期的には、学生数の減少傾向となっており、経費削減や安定した収入源の確保は今後の重要な課題と言える。</p> <p>・会計士による監査が適正に行われている。</p> <p>・財務状況はホームページにて適切に情報公開されている。</p>					

9 法令等の遵守

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	5	4	3	2	1
林	5	4	3	2	1
石坂	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
<p>・職員間の情報共有を図り、法令順守を徹底している。自己評価報告書の公表等、学園の情報をできる限り公開することは社会の信頼に繋がるものと思われる。</p>					

10 社会貢献

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	5	4	3	2	1
林	5	4	3	2	1
石坂	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
<p>・地域とのつながりを重要視し、行政、教育機関、商工団体とのつながりを重要視していることは評価に値する。</p>					

- ・企業団体とのつながりは、企業ニーズの把握や学校活動の周知に大きく貢献するため、引き続き力を入れていくことがより良い経営環境を構築できる。
- ・外国人学生が上田地域で起業すれば、地域経済の活性化にもつながると思う。もし将来的に可能であれば、地域の方が外国人学生と気軽に触れ合えるような、コワーキングスペース設置なども検討を。
- ・今後のリカレント教育の展望は。⇒今年度中に開講予定。

5. 総評

コロナによる学生数の減少などもあったが、一層の学業成果をあげ、昨年度の就職率100%の実績維持を図ると共に、産学官連携を強化していただきたい。

今回の評価については、当学校の状況反映というよりも、日本の行く先を反映されているように思う。

引き続き、近隣企業、学校関係者含めて良い形で外国人だけではなく日本人も含めた社会に出る若い人たちを社会全体で支援していければと思う。

自己点検・評価結果は、概ね適正で妥当と評価できる。教育サービスは、適正に提供されており、学校運営も適正であることが確認できた。各項目の評価については、全体的に高い数値であり、学校として良く取り組んでいる印象を受けた。今回見えてきた課題について、今後も対策をお願いしたい。

以上

2023年8月31日

専門学校長野ビジネス外語カレッジ

学校関係者評価委員会